

■連載（全20回＋総括編）——■

アジア／G20株式市場のいま



広島経済大学 教授
前国際通貨研究所 主任研究員

糠谷 英輝

hideki.nukaya@hue.ac.jp

第13回 サウジアラビア

No. **310**

(2011年6月号)

第18回 メキシコ

No. **321**

(2012年5月号)

第14回 トルコ

No. **312**

(2011年8月号)

第19回 ブラジル

No. **323**

(2012年7月号)

第15回 ロシア

No. **315**

(2011年11月号)

第20回 カンボジア、ラオ
ス、ブルネイ

No. **325**

(2012年9月号)

第16回 南アフリカ

No. **317**

(2012年1月号)

総括編

No. **326**

(2012年10月号)

第17回 アルゼンチン

No. **319**

(2012年3月号)

*2012年4月1日付けで広島経済大学教授に就任
各論文の所属・肩書は執筆当時のもの

公益財団法人 **資本市場研究会**
Capital Markets Research Institute

<http://www.camri.or.jp>

アジア／G20株式市場のいま

—第13回 サウジアラビアの株式市場



公益財団法人 国際通貨研究所
開発経済調査部主任研究員

糠谷 英輝

「アジア株式市場のいま」に続き、今回から先進諸国、アジア諸国を除いたG20諸国の株式市場（サウジアラビア、トルコ、ロシア、南アフリカ、ブラジル、アルゼンチン）を紹介していく。いずれの国の株式市場もあまり紹介されることがなく、また参考図書等もほとんどない。そこで本連載では株式市場や株式取引の特徴、証券取引所の概要など各国株式市場の全体像を把握できるような構成を心掛けていく。第1回はサウジアラビアの株式市場を取り上げる。

■ 1. 中東湾岸諸国におけるサウジアラビア株式市場の位置付け

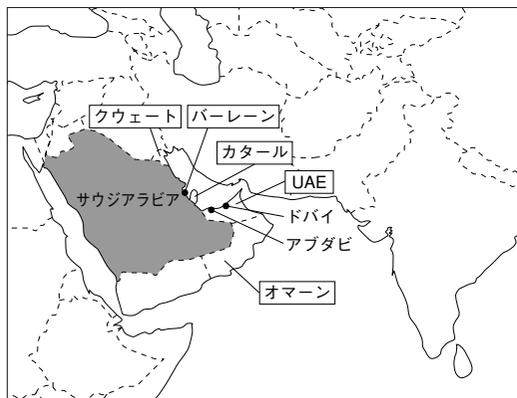
サウジアラビアの株式市場に入る前に、中東湾岸諸国全体の株式市場を概観し、そのなかでのサウジアラビア株式市場の位置付け、特徴を確認したい。その後、より詳しくサウジアラビアの株式市場を見ていくことにする。

中東湾岸諸国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦（以下「UAE」）、クウェート、バーレーン、カタール、オマーン）の株式市場には次のような特徴がある。

- 歴史が浅く発展途上である。
 - 株式市場の規模は小さく、流通株比率が低い。
 - 機関投資家が育成されておらず、個人投資家中心の市場であり、株価の変動性が高い。
 - 政府投資ファンド等の株式保有比率が高い。
- 以下、それぞれの特徴について見ていく。

—〈目次〉—

1. 中東湾岸諸国におけるサウジアラビア株式市場の位置付け
2. サウジアラビアの株式市場
3. 地域市場構築に向けての動き



(図表1) 中東湾岸株式市場概要

国名	取引所名	時価総額	時価総額の 地域シェア	時価総額の 対GDP比率	上場企業数	流通株式の 対時価総額比率	取引高	取引高の 地域シェア	1日平均 取引高
		(百万ドル) 2010年末	(%) 2010年末	(%) 2010年3月末	(社) 2010年末	(%) 2010年3月末	(百万ドル) 2010年第4四半期	(%) 2010年第4四半期	(百万ドル) 2010年第4四半期
サウジアラビア	Saudi Stock Exchange	353,400	45.83	74	146	42	45,461	67.08	757.7
UAE	Abu Dhabi Securities Market	77,081	10.00	43	64	56	2,517	3.71	42.7
	Dubai Financial Market	54,692	7.09		65		3,249	4.79	55.1
クウェート	Kuwait Stock Exchange	113,883	14.77	68	214	56	9,537	14.07	151.4
バーレーン	Bahrain Stock Exchange	20,060	2.60	101	49	54	61	0.09	1.0
カタール	Qatar Exchange	123,641	16.04	107	43	-	6,004	8.86	100.1
オマーン	Muscat Securities Market	28,309	3.67	36	119	48	947	1.40	17.2
合計		771,066	100.00	-	700	-	67,776	100.00	-

(出所) Arab Monetary Fund等

(1) 歴史の浅い中東湾岸株式市場

中東湾岸諸国は建国が比較的最近のことであり(注1)、したがって株式市場の歴史も浅い。中東湾岸諸国でもっとも古い株式市場はクウェートで、クウェート証券取引所の設立は1962年である。中東の金融センターであるバーレーン証券取引所の設立が1987年とこれに続く。オマーンのマスカット証券市場は1988年、カタールのドーハ証券市場(現カタール取引所)は1997年の設立で、UAEのドバイ、アブダビの両取引所は2000年に取引を開始している。

サウジアラビアでは最初の株式会社が1930年代半に誕生した後(注2)、株式市場はインフォーマルな市場として存在していた。1984年に財務・経済省、商務省、サウジアラビア通貨庁(中央銀行)が規制市場を創設し、店

頭取引が開始された(注3)。しかし証券取引所の設立はこれより23年も後のことになり、一般にTadawulと呼ばれるサウジ証券取引所(The Saudi Stock Exchange (Tadawul) Company)は資本市場法(Capital Market Law)第20条に基づいて2007年3月に設立された。

(2) 規模の小さい中東湾岸株式市場

中東湾岸株式市場は2002年以降、急速な拡大を見せた。これは通信セクターをはじめ民営化が成功したことなどによる。2010年末の地域合計時価総額は7,711億ドルとなったが、これはNYSEユーロネクスト(米国)の5.7%、東京証券取引所の5分の1の規模に過ぎず、アジアの市場では台湾証券取引所(8,185億ドル)を少し下回る(図表1)。

(図表2) サウジアラビア、クウェート、ドバイの投資家構成 (2010年4月、シェア%)

	サウジアラビア	クウェート	ドバイ
個人	91	71	80
銀行・企業	5	21	20
機関投資家	4	8	0.32
自国民	95	92	55
中東湾岸諸国民	2	3	6
その他外国人	3	5	38

(出所) NCB Capital

対GDP比で見ると、中東湾岸株式市場の時価総額は60%程度であるが、カタール(110%)、バーレーン(86%)が相対的に大きいものに対して、UAE(43%)、オマーン(36%)は経済規模の半分に満たないなど国による格差が大きい。

上場企業数は中東湾岸株式市場全体で700社であるが、流通株式は時価総額の半分程度に過ぎない。この比率は欧州の約7割、米国の9割に比較して低いものであり、インド、中国といった新興市場とほぼ並ぶ水準である。また取引高は2010年第4四半期で678億ドルとアジア新興国と比較してもかなり低い水準に留まる。

こうした中東湾岸株式市場において、サウジアラビアの株式市場は時価総額で46%、取引高では67%と圧倒的なシェアを占める。

(3) 投資家の構成から見た中東湾岸株式市場

中東湾岸株式市場の投資家構成を見ると、個人投資家のシェアが圧倒的に高い(図表2)。個人投資家のシェアは7~9割超に上っており、特にサウジアラビアでは個人投資家のシェアが91%を占める。機関投資家の育成は遅れており、ドバイでは機関投資家のシェアは0.32%と1%に満たない。但し、社会保険や年金といった先進諸国では機関投資家に分類される基金は、後述のように政府投資ファンドの1つとして国営企業等の株式を保有している。これは投資家というよりも、政府の方針に基づいて当該企業を所有しているのが実態であり、このため取引可能な流動株の比率が低下する。

また外国人による株式投資はドバイなどを除いて極めて少ない。後述するように外国人によるサウジアラビア株式市場への投資は厳しく制限されており、中東湾岸諸国民以外の外国人のシェアは3%に過ぎない(注4)。

(図表3) 政府投資ファンド・国営企業による株式保有状況 (2010年7月5日)

国名	政府投資ファンド等の数	政府投資ファンド等の保有社数	投資額：A (百万ドル)	地場市場の時価総額：B (百万ドル)	市場シェア： A/B (%)
サウジアラビア	10	47	109,718	314,556	35
UAE	10	29	28,255	97,247	29
カタール	8	18	26,001	97,746	27
クウェート	10	42	11,717	90,871	13
バーレーン	9	20	3,518	16,386	21
オマーン	14	23	2,735	16,737	16
中東湾岸諸国合計	51	179	181,994	633,544	29

(出所) Kuwait Financial Centre “Markaz”

機関投資家が育成されておらず、外国人投資家の投資も限られ、個人投資家が圧倒的なシェアを持つ市場では、売り買いが一方に傾きやすく、株価の変動性が高くなる。サウジアラビアでの株価急騰、暴落に関しては後述するが、地域最大の株式市場であるサウジアラビアの動向は、アブダビ、ドバイ、カタールなどの中東湾岸他国にも波及し、中東湾岸諸国の株価動向は地域で同じパターンを辿る結果になっている。

(4) 政府投資ファンド等の存在感が大きい中東湾岸株式市場

中東湾岸諸国では政府が株式市場の主要な参加者となっており、100%政府所有、あるいは実質的に政府所有の政府投資ファンドや国営企業が、2010年7月5日時点で約1,820億ドルの株式を保有している(図表3)。中東湾岸諸国全体ではこうした政府投資ファンド等

が51機関存在し、179社の上場企業の株式を保有している。時価総額におけるシェアは約30%に上る。

中東湾岸諸国の中でも特にサウジアラビアの政府投資ファンド等の市場シェアが高い。10機関で約1,100億ドルの株式を保有しており、また10機関の中でも公共投資基金(Public Investment Fund)が10機関による投資額の65%超のシェアを占める圧倒的な地位にある(図表4)。公共投資基金は上場企業18社の株式を保有しているが、10機関の1つであるサウジ基礎産業公社(Saudi Basic Industries Corporation)の株式70%を保有するなど、10機関の中でも出資関係が存在する構造にもある。政府投資ファンド等が所有する主な企業は(図表5)の通りであり、基幹産業を政府が保有する姿が窺える。また王族や財閥一族も主な投資家に名を連ねている(図表6)。王族等による投資はその実態が公表

(図表 4) サウジアラビアの政府投資ファンド等 (2010年 7 月 5 日)

機関名	投資企業数	投資額 (百万ドル)
Public Investment Fund	18	71,874
General Organization for Social Insurance	29	17,768
Saudi Basic Industries Corporation	3	9,392
Public Pension Agency	17	5,962
Saudi Arabian Oil Company	2	3,384
Saudi Arabian Monetary Agency	1	715
National Commercial Bank	3	322
Gulf Investment Corporation	2	249
The Arab Investment Company	1	35
Islamic Development Bank	1	18
合 計	47	109,718

(出所) Kuwait Financial Centre “Markaz”

(図表 5) サウジアラビアの政府投資ファンド等の主な出資先 (2010年 7 月 5 日)

会社名	政府投資ファンド等の 持株比率 (%)	時価総額 (百万ドル)	政府投資ファンド等の 保有額 (百万ドル)
Saudi Arabian Basic Industries Corp.	70.00	67,605	47,324
Saudi Telecom Company	77.00	19,628	15,114
Samba Financial Group	34.30	13,261	4,549
Riyad Bank	43.30	11,001	4,763
Saudi Arabian Fertilizer Company	59.49	9,051	5,384

(出所) Kuwait Financial Centre “Markaz”

(図表 6) サウジアラビアの主な王族・財閥投資家
(投資額10億ドル超、2010年 7 月 31 日)

投資家名	投資額 (百万ドル)	出資比率 5 % 超 の企業数
Prince AlWaleed Talal Abdul Aziz Al Saud	7,604	1
Sulaiman Abdul Aziz Saleh Al Rajhi	6,783	4
Saleh Abdul Aziz Saleh Al Rajhi	4,695	3
Mohammed Ibrahim Mohammed Al Essa	2,334	5
Abdullah Abdul Aziz Saleh Al Rajhi	2,048	5
Prince Sultan Mohammed Saud AlKabeer Al Saud	1,899	2
Rashid Al Abdul Rahman Al Rashid & Sons	1,832	3

(出所) NCB CAPITAL

されない。サウジアラビアでは王族・富豪が保有する資産額は政府投資ファンドを上回るとの推計もあり、対外資産にも活発な投資を行っている。個人投資ファンド等を通じて投資を行っているケースが多く、投資家として名前が出て来ないケースが大半と見られる。このため（図表6）は表に出ているほんの一部に過ぎないものと想像される。

（注1） 建国（あるいは保護領からの独立）はサウジアラビア1932年、オマーン1951年、UAE1971年、クウェート1961年、バーレーン1971年、カタール1971年。もっとも古いサウジアラビアでも建国後、未だ80年程度しか経っていない。

（注2） サウジアラビアで最初の株式会社としてArab Automobile社が設立された。

（注3） 1984年には商業銀行によってThe Saudi Share Registration Company（SSRC）が設立された。SSRCは中央登録機関であり、全ての株式取引の清算、決済機能を提供した。

（注4） UAEでは外国人による投資可能な銘柄は137銘柄中99銘柄であり（2010年4月）、出資比率上限は49%とされている。クウェート、バーレーンでも外国人保有比率の上限は49%であるが、カタールは25%と上限は低く、オマーンは70%と逆に高い。またバーレーンでは外国人1人で1社の株式の1%以上を取得することはできない。

■ 2. サウジアラビアの株式市場

（1） サウジアラビア株式市場の概要

これまで見たようにサウジアラビアの株式市場は中東湾岸地域では相対的に歴史は古く、圧倒的な市場規模を誇るが、未だ発展途上であると言える。（図表7）に見る通り、資金調達では銀行融資に依存する比率が高く、株式市場からの調達は限定的である。ここ10年の時価総額と取引高の推移を見ても、2000年代半にかけて増加した後、時価総額は停滞し、取引高は減少傾向にある（図表8）。

サウジアラビアでの株式取引はサウジ証券取引所（Tadawul）に集中化されており、Tadawulがサウジアラビアで唯一の証券取引所である。2007年のTadawul設立以前には株式取引はSaudi Arabia Electronic Securities Information System（ESIS）で行われており、ESISは中央銀行であるサウジアラビア通貨庁（SAMA：Saudi Arabian Monetary Agency）が運営していた。ESISは1990年に導入され、取引から清算、決済まで完全電子化された世界初の電子取引市場を提供していた。Tadawulは2001年10月に新システムを導入し、さらに2007年10月にはNASDAQ OMXが提供する新たなシステムを導入した。

2003年まではSAMAが株式市場の監督責任を負っていたが、2003年6月に資本市場法に基づいて資本市場監督庁（CMA：Capital Market Authority）が設立され（注5）、同年

(図表7) サウジアラビアにおける資金調達動向

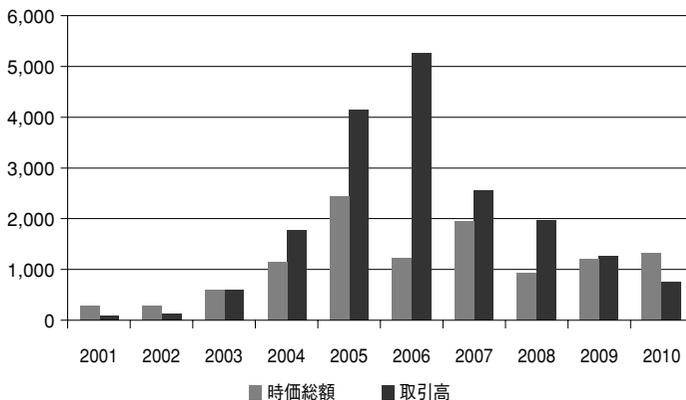
(10億ドル)

調達手段	2009年 第1四半期	2010年 第1四半期
銀行借入	197.2	202.0
IPO	0.3	0.7
債券発行	0.2	2.3
未公開株	0.43	0.28

(出所) NCB CAPITAL

(図表8) Tadawulの時価総額、取引高推移

(10億サウジ・リアル)



(出所) Tadawul

7月からCMAがサウジアラビア株式市場、Tadawulの規制監督機関となった。CMAは唯一の資本市場監督当局として、投資家保護、市場の公正性、効率性確保のために必要な規制等の策定も行っている。

(2) Tadawulの概要 (注6)

Tadawulは政府投資ファンドのPublic Investment Fundが全額出資する国営企業である。Tadawulでは株式の他、イスラム債券(スクーク)を含めた社債、投資信託に加え、2010年3月にはETFも上場、取引されている。

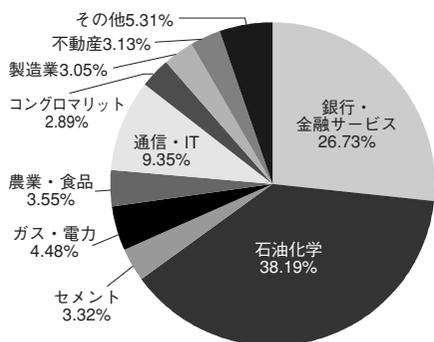
取引日は祝日を除く土曜日～水曜日 (注7)で、取引時間は株式市場が午前11時～午後3時半、債券市場が午前11時半～午後3時半である。株式はブックエントリー方式で保有され、株式取引は電子化されている。取引システムは注文主導型で、価格、時間優先の原則で

マッチングがなされる。注文はマッチングがなされるか、取り消されるまではTadawulに留まるが、注文は当日注文(当日限りの注文)、今週注文(当該週を通じての注文)、今月注文(当該月を通じての注文)、最大30日間までの日数を限った注文などが可能となっている。

株価指数としては上場全株式を対象としたTadawul All Share Index (TASI) があり、国際的な指数としては2010年10月7日にダウジョーンズ・サウジ・タイタン30指数がローンチされた。同指数は米ドル建てで主要30銘柄で構成されている。

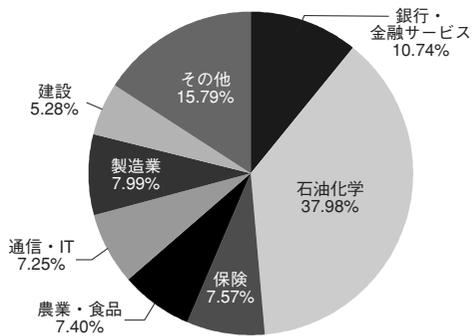
サウジアラビアでは店頭市場はなく、デリバティブ取引、証券貸借取引、証券レポ取引もない。また空売りも禁止されている。

(図表9) 時価総額の産業セクター別シェア
(2011年3月30日)



(出所) Tadawul

(図表10) 取引高の産業セクター別シェア
(2011年第1四半期)



(出所) Tadawul

(3) サウジアラビア株式市場の特徴

サウジアラビア株式市場の特徴は中東湾岸株式市場共通の特徴として前述したが、産業分野別に見ると石油化学と銀行セクターが大きなシェアを占めること、投資家別に見ると前述したように個人投資家のシェアが極めて高く、このため市場の変動性が高いこと、非常に緩やかなペースであるが対外開放が進められていることの3点が特に指摘できよう。

① 一部セクター・一部銘柄へ取引が集中する市場

(図表9) は時価総額の産業セクター別シェアを見たものである。石油化学と銀行・その他金融サービス（保険を除く）で約65%を占めている。石油化学のシェアが高いのは世界最大の産油国サウジアラビアの経済構造を反映したものであるが、製造業を含め、その他産業の育成が進んでおらず（すなわち経済構造の多角化が遅れている）、結果的に石油化学

に次いで銀行のシェアが高くなっている。

(図表10) は取引高の産業セクター別シェアを見たものである。ここでも石油化学が約38%と最大のシェアを占め、銀行と保険を合わせて18%、3つのセクターで56%と過半を占める。また個別銘柄毎に見れば、石油化学セクターではSaudi Basic Industries Corp.とSaudi Kayan Petrochemical Companyの2社で、取引高ベースでセクター内の58%のシェアを占めている。銀行セクターでもAlinma Bank、Al Rajhi Bankの2行で同じく約80%のシェアを占めている（図表11）。このようにサウジアラビア株式市場は一部セクター、一部銘柄に偏った市場であると言える。

その背景には投資対象となる主な銘柄が限られていることが指摘されよう。産業セクター別の1銘柄当たりの時価総額を見ると、銀行・金融サービス、石油化学、電力・ガス、通信・ITが大きく、その他産業セクターの銘柄との間には大きな格差がある（図表12）。

(図表11) 取引の多い上位5銘柄(2011年第1四半期)

	企業名	セクター	市場シェア	セクター内シェア
〈取引件数〉				
1	Saudi Basic Industries Corp.	石油化学	5.59%	25.91%
2	Mobile Telecommunications Company Saudi Arabia	通信	3.23%	50.86%
3	Saudi Kayan Petrochemical Company	石油化学	3.11%	14.43%
4	Alinma Bank	銀行	3.01%	46.33%
5	National Metal Manufacturing and Casting Co.	製造	2.12%	24.18%
	合 計		17.06%	
〈取引株数〉				
1	Alinma Bank	銀行	10.72%	81.09%
2	Mobile Telecommunications Company Saudi Arabia	通信	8.08%	65.16%
3	Saudi Kayan Petrochemical Company	石油化学	8.06%	32.17%
4	Saudi Basic Industries Corp.	石油化学	3.28%	13.10%
5	Emaar The Economic City	不動産	3.03%	38.82%
	合 計		33.17%	
〈取引高〉				
1	Saudi Basic Industries Corp.	石油化学	15.53%	40.88%
2	Saudi Kayan Petrochemical Company	石油化学	6.83%	18.00%
3	Alinma Bank	銀行	5.03%	46.80%
4	Al Rajhi Bank	銀行	3.52%	32.80%
5	Saudi Arabian Mining Company	製造	2.86%	35.85%
	合 計		33.77%	

(出所) Tadawul

このため取引は銀行と石油化学の2セクターに集中し、しかも両セクターで取引の多い前記2銘柄はセクター内で流動株数の多い2銘柄となっている(図表13)。経済構造に加え、銘柄の規模、流動株数を考えると、サウジアラビア株式市場での投資銘柄は限られてくると言える。

② 個人投資家が圧倒的シェアを占め、変動性の極めて高い市場

投資家構成については個人投資家のシェアが圧倒的に高いことは前述した。2011年3月の取引高ベースでも、個人投資家のシェアは85.7%と圧倒的である。取引量や取引件数で見ると、個人投資家のシェアは約90%に達する。このためサウジアラビア株式市場の変動性は

(図表12) 産業セクター別上場銘柄数

産業セクター	上場銘柄数	1銘柄当たりの時価総額 (2011年3月30日、億円)
銀行・金融サービス	11	6,998
石油化学	14	7,856
セメント	9	1,061
小売	9	379
電力・ガス	2	6,448
農業・食品	15	681
通信・IT	4	6,734
保険	31	150
コングロマリット	7	1,188
製造	13	676
建設	14	334
不動産開発	8	1,126
運輸	4	381
メディア・出版	3	185
ホテル・観光	2	226

注：1 サウジ・リアル=21.83円で換算。

(出所) Tadawul

極めて高い。2003年から2006年2月にかけて Tadawul All Share Index (TASI) は7倍に上昇し、2006年3月のピーク時(2006年3月25日、20,966.58ポイント)には上場銘柄が78銘柄に過ぎなかったにもかかわらず、Tadawulは時価総額で世界第10位の時価総額を誇る証券取引所となった。その後、株価は急落に向かい、3か月のうちに半減し、2006年末にはピーク時から53%超の下落となった。この結果、時価総額で約4,800億ドルを失った。

株価急落の背景は次の通りである。企業の成長を大きく上回る株価上昇で割高感が強まったが、優良銘柄の上昇が止まった後、投機

的な動きにより業績に関係なく一部企業の株価も高騰した。このため当局は株式投機を防止するため個人向け与信規制を導入したが、これを機会に投機筋が大量の売りを浴びせることになった。個人投資家は、急騰局面では買えばもうかると信じ買いに走り、急落局面ではパニック的に売り急いだために株価の変動が急激なものとなった。

最近では中東情勢が混沌としており、民主化デモのサウジアラビアへの波及なども懸念され、TASIも低迷を続けている。2011年4月26日のTASIは6,684.7ポイントとピーク時の32%程度に過ぎない(図表14)。

(図表13) 銀行・石油化学セクターの流動株比率 (2011年3月30日)

企業名	発行株式数	流動株式数	流動株比率
Riyad Bank	1,500,000,000	712,747,004	47.516%
Bank A I Jazira	300,000,000	203,412,982	67.804%
The Saudi Investment Bank	550,000,000	295,167,366	53.667%
Saudi Hollandi Bank	330,750,000	96,993,232	29.325%
Banque Saudi Fransi	723,214,300	395,367,235	54.668%
The Saudi British Bank	750,000,000	246,404,119	32.854%
Arab National Bank	850,000,000	416,989,845	49.058%
Samba Financial Group	900,000,000	455,309,689	50.590%
Al Rajhi Bank	1,500,000,000	797,502,752	53.167%
BANK Albilad	300,000,000	231,553,000	77.184%
Alinma Bank	1,500,000,000	1,039,300,000	69.287%
Methanol Chemicals Company	120,600,000	60,300,000	50.000%
National Petrochemical Company	480,000,000	73,000,000	15.208%
Saudi Basic Industries Corp	3,000,000,000	656,455,824	21.882%
Saudi Arabia Fertilizers Co.	250,000,000	89,550,556	35.820%
National Industrialization Co.	557,428,471	488,761,468	87.681%
Alujain Corporation	69,200,000	58,880,000	85.087%
Nama Chemicals Co.	128,520,000	128,520,000	100.000%
Saudi Industrial Investment Group	450,000,000	398,398,250	88.533%
Sahara Petrochemical Co.	292,530,000	257,395,317	87.989%
Yanbu National Petrochemical Company	562,500,000	214,519,687	38.137%
Saudi International Petrochemical Co.	366,666,666	337,586,852	92.069%
Advanced Polypropylene Company	141,375,000	133,861,642	94.686%
Saudi Kayan Petrochemical Company	1,500,000,000	602,373,465	40.158%
Rabigh Refining and Petrochemical Co.	876,000,000	152,630,084	17.424%

注：■部分が各セクターの取引高上位2銘柄。(出所) Tadawul

③ 徐々に進む対外開放

サウジアラビアの株式市場は中東湾岸諸国の中でももっとも閉鎖された市場であり、株式市場に直接投資を行えるのは中東湾岸諸国民とサウジアラビアの外国人居住者のみに限定されていた。非居住外国人は投資信託を通してのみ株式市場にアクセスすることができた。

2008年8月、資本市場監督庁(CMA)は初めて非居住外国人の株式投資を認めた。しかし非居住外国人は直接に株式を購入することはできず、公認の株式仲介者を通じてのみ購入す

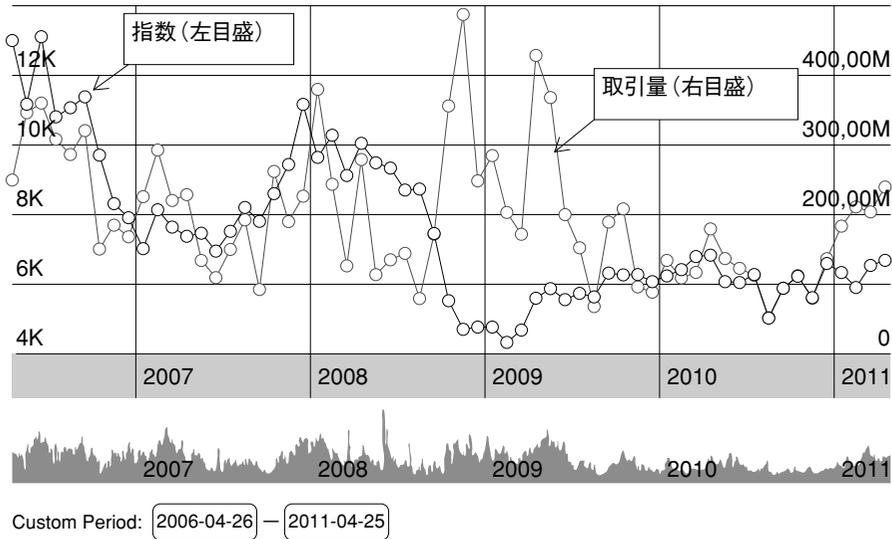
ることが認められる。しかし当該株式の所有権は株式仲介業者が投資家のために所有する形態となる。こうした措置は投機資金の株式市場への流入を阻止するためと見られている。

(注5) Royal Decree No.(M/30) dated 2/6/1424H (2003年6月16日)

(注6) Tadawulに関する統計データなどは次のサイトから入手可能である。<http://www.tadawul.com.sa/wps/portal>

(注7) サウジアラビアは木曜日、金曜日が週末で休日となる。

(図表14) TASIの推移 (2006年4月～2011年4月)



(出所) Tadawul

3. 地域市場構築に向けての動き

アラブ諸国、中東湾岸諸国では地域の証券取引所の提携など地域市場構築に向けた動きも見られる。

2006年10月、アラブ首長国連邦 (UAE) の首長国証券商品監督庁 (Emirates Securities and Commodities Authority) はアラブ諸国間の情報や技術交換、重複上場やクロスボーダー取引といった協調強化のため、アラブ資本市場設立に向けてイニシアティブを発揮することを表明した。対象国はエジプト、ヨルダン、パレスチナ、モロッコ、アルジェリア、チュニジア、シリア、イラク、レバノンと中東湾岸諸国である。

また中東湾岸諸国は通貨統合を計画しており、通貨統合後に共通の資本市場形成も視野に入る。しかし通貨統合の当初の予定であった2010年末は先送りされ、さらに現段階ではオマーン、UAEが通貨統合への不参加を表明しているなど、目標達成は遠のいている。

最近の中東情勢混乱もあり、地域市場の創設や地域間の連携促進といった動きは当面停止することとなろう。